

令和2年

目黒区教育委員会

第37回定例会議録

(令和2年11月10日開催)

第37回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年11月10日

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育委員会教育長 関根義孝

教育委員会教育長職務代行者 笹尾敦夫

教育委員会委員 櫻井道雄

教育委員会委員 川嶋春奈

出席職員 教育次長 秋丸俊彦

教育政策課長 横本達司

学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）

関真徳

学校ＩＣＴ課長 今村茂範

学校運営課長 濱下正樹

学校施設計画課長 岡英雄

教育指導課長 竹花仁志

教育支援課長 細野博司

統括指導主事 片山順也

統括指導主事 石邑由紀子

生涯学習課長 千葉富美子

書記 佐藤洋一

森高健二郎

(議事日程)

- | | | |
|------|------|----------------------|
| 日程第1 | 報告事項 | 目黒区学校施設更新計画素案について（案） |
| 日程第2 | 報告事項 | 教育委員会名義の使用承認状況について |

資料配布

- ・令和2年度前期目黒区立学校におけるいじめの状況について（修正）

(午前9時開会)

○教育長 令和2年第37回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
　　本日の欠席委員は松村委員です。欠席職員はありません。署名委員は、笹尾委員です。
　　それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 目黒区学校施設更新計画素案について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
○委員 構造体耐久性調査の結果や教育環境等を勘案し、学校施設の更新順位を決める考え方はずばらしいと思います。
　　多くの公共施設の更新では、予算優先による考え方に基づくものが多く、構造体耐久性や教育環境などの視点がないがしろにされている印象を受けていました。そのため、構造体耐久性や教育環境を中心に検討を行った目黒区の更新計画は、先進的なものに仕上がったという印象を受けました。
　　築後80年をもって、一斉に建て替えることは大きな課題があると思います。現在、目黒区の多くの建物が調査の結果、築後80年までは使用できることが確認できていますので、更新に際しては、構造体耐久性よりも教育環境などの優先順位を高める必要があると思います。区民に対する説明では、多くの建物が築後80年までは使用できるので、更新の優先順位は、教育環境などに重点を置いていると説明すれば、多くの方に納得いただけると思いますので、そのように説明することを検討していただきたいです。
○説明員 委員ご指摘の点も踏まえまして、今後区民の方へ説明していく際には、構造体のことばかりを主張することのないように説明をさせていただきたいと思っております。
○委員 教えていただきたいのですが、改築すれば後30年は使用できるので、30年間かけて改築して、使用期間を延ばそうとするのは、財政上の方針であるからだと思います。その場合、30年後には、建替えが多くの学校で始まると思いますが、その際に莫大な予算が必要となるのではないでしょうか。
　　これについては、30年間の財政上の問題を先送りしている印象を受けました。それよりも、例えば計画的に1年後や2年後など

何年後かごとに更新を行ったほうが、時代に合った学校設備が整うとともに、計画的に費用も分散できるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○説明員

説明が分かりづらく申し訳ありません。本編の37ページをご覧ください。このページの表では、建物を80年使った上で一斉に建て替えるスケジュールを示しております。2040年頃に一斉に建て替える時期が来ることになっております。

事務局も一斉建替えについては、財政上の負担も大きくなると考えております。本編の38ページをご覧ください。38ページのパターン1では、1年間に3校の更新を実施していくスケジュールを示しておりまして、こちらでは時間がかかり過ぎてしまい、80年以上に及ぶことを示しております。

39ページのパターン2では、1年間に4校の更新を実施していき、毎年1校ずつ建て替えていくスケジュールを示しておりまして、こちらはおおむね80年程度で建て替えが完了することになります。

次に、40ページをご覧ください。パターン3は、1年間に5校の更新を行うスケジュールを示しておりますが、このスケジュールですと、単年度当たりの財政負担が大きくなる考え方を示しております。こうした状況から、パターン2の毎年1校ずつ建て替え、30年間で平準化した建替計画を行うことが本計画の更新のスケジュールの考え方となってございますので、毎年1校ずつ建て替えていくことにより、それぞれの時代の教育ニーズを反映していくと考えてございます。また、建物を造りますと、60年間から80年間建物を使っていくことになりますので、そのときの教育環境や社会の変化に対応できるよう柔軟かつ容易に改修ができる造り方をしていく考え方で計画を進めていこうと考えております。

○委員

改築や建替えの計画が入っているわけですね。分かりました。ありがとうございます。

○委員

まず、目黒区のホームページを見ますと、各校の校舎の図が示されており、第1校舎、第22校舎、第26校舎など、番号がバラバラなのですが、どうしてそのようになっているのでしょうか。また、東山小学校にいち早く取りかかった理由がありましたら、教えていただけますか。

○説明員

まず、各学校の棟ごとの番号についてお答えします。文部科学省に提出する資料で、全国的に統一された番号の振り方がございま

して、建物、棟で分かれているものについて番号を振っていきます。棟ごとに振っていきますので、増築を重ねると番号が増えていきます。その結果、20棟や26棟などの番号がつき、1棟や2棟などの番号がなくなるものでございます。そのルールに基づき番号を振っております。

次に東山小学校の改築についてですが、目黒区でこれまで改築に取り組んできたものとして、昭和59年に宮前小学校を、その後、緑ヶ丘小学校、碑小学校、目黒中央中学校もやっておりますが、それまでは建物が古いものから建て替える状況がございまして、東山小学校についても、古い年代のものでしたので、東山小学校を建て替えることとしたものでございます。

併せて、区有施設の見直しを平成24年度から取り組み出して、今回の計画に至ったという状況でございます。

○教育長

その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第2を議題とします。

(日程第2 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布
・令和2年度前期目黒区立学校におけるいじめの状況について(修正) 〕

○教育長 資料配布についてご質問等はございませんか。

○委員 コロナ禍の中で、いじめ問題において、何かお気づきの点はありますか。

○説明員 9ページの⑨番をご覧ください。

今回新たに作成した設問で、「あなたは、新型コロナウイルス感染症に関係した悪口を言われたり、いやなことをされたりしていますか」というものでして、ご覧のとおりの結果が出ております。実際に悪口や冷やかしなどがあることは学校アンケートから分かっておりますので、各小学校は、この実態を踏まえた上で適宜指導

している状況でございます。

また、中学校につきましては、10ページの⑨番に記載のとおり、
1年生と3年生で2件ずつございましたので、同様に指導を行つ
ているところでございます。

○教育長 その他なにかございますか。

以上で本日の定例会を閉会します。

(午前9時44分閉会)